



研修の様子を紹介します

ロイロノート・スクール基礎講座：5/14(火)

株式会社LoiLoの守谷様から、ロイロノート・スクールについて、基礎的な操作方法から、授業での活用方法について、講義・演習を行っていただきました。去年に比べ研修時間を増やしたことで、より多くの演習の機会を通して、授業での活用方法の考察を行いました。

受講者の声

初めてロイロノートに触れました。授業ノートの作成から資料の提示、共有の仕方など、授業で具体的にどのように使うかが分かりました。生徒の学びやすさと併せて、教員にとっても負担軽減に役立つアプリだということを知りました。



活用例や操作方法について、自分で調べる方法を教えていただきました。全国の先生方の事例を参考に、勤務校での活用方法を考えることができるのでありがたかったです。



教科リーダー育成講座(小・中・特)：5/31(金)

本講座は、小・中・特別支援学校に勤務する教職7年目以降の教諭を対象としています。教科の専門性を高め、各地区で教科指導のリーダーとなる人材育成を目的とした講座です。受講者は、「教科教育専門監」候補となります。

講座1日目は、教科別に大学の先生から「学習指導要領の趣旨の実現」に向けて、最新の授業実践事例等を学び、教科の専門性の伸長を図るための講義をしていただきました。協議では、地域の教科指導の手本となる授業を目指し、各自が作成してきたレポートについて少人数で意見交換を行いました。今後は、指導案検討、授業公開(1回)、授業参観(2回)、研修のまとめを予定しています。

受講者の声

生徒自身が物語や説明文で身に付けた資質・能力をログに残しておくことで、国語の授業が単発にならず、系統的に学習を進められるようになると思いました。Googleドライブを使って、6年間培ってきた自分の学習ログをいつでも見返せるような仕組みを作りたいと思いました。

他の先生方の構想から気づくことが多々ありました。常活動を上手く使えていない現状があるので、もっと単元のゴールや目指す生徒の姿にむけて設定していかなければならないと感じました。協議の中で、違った視点から助言を頂き、少しずつ形が見えてきた気がします。同じような悩みをもつ先生方とそれを共有できたのは大きかったです。



大学教授の講義の様子



グループ協議の様子

新潟県立教育センターでは、教育課題についての調査・研究を行っています

今号から4回に分けて、当センターが行っている調査・研究テーマについて紹介します。初回は、「学級・ホームルーム経営」と「探究的な学び・デジタル教科書活用」です。

学級・ホームルーム経営

「学級・ホームルーム経営」について調査・研究を行っています。

「持続可能な社会の創り手」となることが期待される子どもに、生きる力を育むことを目指すに当たり、どのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながその充実を図ることが求められています。

このプロジェクトチームではこれまで、学級・ホームルーム経営の核となる「特別活動」に着目し、小学校、中学校、高等学校で実践研究を行ってきました。今年度は更に、その土台となる幼児教育実践も加え、幼児教育から高等学校教育までを見通した資質・能力の育成について、研究の成果と課題を発表します。

探究的な学び・デジタル教科書活用

「デジタル教科書を用いた効果的な取組」について調査・研究を行っています。

探究的な学びを実現するためには、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る必要があります。その有効な手段として、デジタル教科書の効果的な活用が報告されています。

このプロジェクトチームでは、県内外を問わず、先進的で汎用性のあるデジタル教科書の活用事例について調査・研究を行い、紹介していこうと考えています。

特別活動は「2つの活動」と「学校行事」で構成されています。

学習指導要領では特別活動における視点を右の3つに整理しています。変化の激しいこれからの社会の中で生き抜いていく生徒だからこそ、この3つの視点を大事にしていきたいものです。

人間関係形成 社会参画
自己実現

学習指導要領における学級活動・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の指導で留意すべきポイント

学級活動・ホームルーム活動	生徒会活動	学校行事
<ul style="list-style-type: none">●合意形成を主とする内容(1)「学級・ホームルームや学校における生活づくりへの参画」を重視する必要がある。●意思決定を主とする内容(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」は学校全体のキャリア教育の要の時間である。「キャリア・パスポート」の活用が有効である。 <p>生徒による話し合い活動や担任による指導が毎週確保できるようにしなければなりません。</p>	<ul style="list-style-type: none">●生徒が自発的、自治的な活動を実施できるような指導の工夫が求められる。●ボランティア活動などを通じて、社会に参画する力の育成が求められている。●生徒会役員選挙など主権者教育の実践の場となる。 <p>生徒会とは学校の全生徒をもつて組織するものであり、一部の生徒会役員を指すものではありません。</p>	<ul style="list-style-type: none">●職場体験活動・就業体験活動やボランティア活動などの豊かな体験活動の充実が求められている。●内容(3)「健康安全・体育的行事」においては特に事件や事故、災害等から身を守ることを明示されている。 <p>体験や学びがその場限りにならないよう振り返りの活動を大切にするとともに、生徒や教師の過度な負担にならないように配慮しなければなりません。</p>
❓ 教師主体の学級活動・ホームルーム活動になっていませんか。	❓ 生徒会の一員であることを全生徒が自覚できていますか。	❓ 「活動あって学びなし」になっていませんか。

「問題の発見・確認」、「解決方法等の話し合い」、「解決方法の決定」、「決めたことの実践」、「振り返り」この活動のプロセスを生徒が実感できるような指導を大事にしていきましょう。また、実践して終わりではなく、振り返りや次の活動や課題解決に生かすことが大切です。

「学校文化を創る特別活動（中学校・高等学校編）」より（東京書籍2023）

デジタル教科書の効果的な活用のあり方

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を可能とするデジタル教科書の効果的な活用のあり方

個別最適な学び	協働的な学び												
<p>デジタル教科書の効果的な活用のポイント</p> <ol style="list-style-type: none">1. 繰り返し書き直しができるデジタル教科書の特徴を活かして、児童生徒が試行錯誤して考えを形成する活動を充実させる。2. 児童生徒の手元で拡大したり、繰り返し音声を読み上げることができるデジタル教科書と、一覧性のある紙の教科書の両方を利用して、児童生徒自らのペースで学習できる環境を作る。	<p>デジタル教科書の効果的な活用のポイント</p> <ol style="list-style-type: none">1. デジタルでの共有のしやすさを広げて、お互いに考えを見せ合って考えを広げることや相互に助言する活動を充実させる。2. 個人の考えを大型提示装置に全体に共有することで、ペア学習等で深めたい思考を表現する言語活動を充実させる。												
<p>個別最適な学びの充実に資するデジタル教科書の機能</p> <table border="1"><thead><tr><th>拡大</th><td>各々の興味・関心に応じて、教科書の本文や図表を拡大して表示することで確認できる。</td></tr><tr><th>書き込み・保存</th><td>自分の考えや他者の考えを、教科書にペーパーで簡単に書き込み、保存して、振り返りに活用することができる。</td></tr><tr><th>音声読み上げ</th><td>音声等を確認しながら自分のペースで教科書に記された文章をもとに学習できる。</td></tr><tr><th>その他</th><td>教科書の背景色・文字色を反転したり、漢字にルビを振ることで読みやすくなる。</td></tr></thead></table>	拡大	各々の興味・関心に応じて、教科書の本文や図表を拡大して表示することで確認できる。	書き込み・保存	自分の考えや他者の考えを、教科書にペーパーで簡単に書き込み、保存して、振り返りに活用することができる。	音声読み上げ	音声等を確認しながら自分のペースで教科書に記された文章をもとに学習できる。	その他	教科書の背景色・文字色を反転したり、漢字にルビを振ることで読みやすくなる。	<p>他のICT機器等を一体的に使用することにより可能となる共有方法</p> <table border="1"><thead><tr><th>学習支援ソフト等による共有</th><td>学習支援ソフト等を活用すると、学校全員の児童生徒の書き込みを同時に共有することができる。</td></tr><tr><th>大型提示装置による表示</th><td>大型提示装置を活用すると、児童生徒の手元の画面を大きく表示して学校全体に共有することができる。</td></tr></thead></table>	学習支援ソフト等による共有	学習支援ソフト等を活用すると、学校全員の児童生徒の書き込みを同時に共有することができる。	大型提示装置による表示	大型提示装置を活用すると、児童生徒の手元の画面を大きく表示して学校全体に共有することができる。
拡大	各々の興味・関心に応じて、教科書の本文や図表を拡大して表示することで確認できる。												
書き込み・保存	自分の考えや他者の考えを、教科書にペーパーで簡単に書き込み、保存して、振り返りに活用することができる。												
音声読み上げ	音声等を確認しながら自分のペースで教科書に記された文章をもとに学習できる。												
その他	教科書の背景色・文字色を反転したり、漢字にルビを振ることで読みやすくなる。												
学習支援ソフト等による共有	学習支援ソフト等を活用すると、学校全員の児童生徒の書き込みを同時に共有することができる。												
大型提示装置による表示	大型提示装置を活用すると、児童生徒の手元の画面を大きく表示して学校全体に共有することができる。												

令和4年度「学習用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証事業」（概要版）より

お知らせ

基本研修に係る受講該当者の調査について

今年度も、来年度に向けた「基本研修受講該当者調査」を7月から8月にかけて実施します。来年度に教職2年目、6年目、13年目となる方が基本研修の受講該当者となります。例年、「基本研修の受講通知が来なかった」という問合せがあります。これは、前年度に実施した「基本研修受講該当者調査」で該当者が報告されていなかったことが原因です。この調査に基づいて受講通知を発送しますので、各学校においては、該当者の漏れ落ちがないように確認のうえ、報告をお願いします。

PlantのFAQを更新しました

新潟県立教育センターホームページの「研修申込」に掲載している「Plantに関するFAQ」に次の2つを追加しました。

- ・初回ログイン時、誤ったメールアドレスを登録した場合の対応について
- ・研修の申込みをしたが、受講ステータスが「受講決定」にならない場合について

